

江の川に架かる橋梁群

余村 浩

1. 江の川橋梁群調査研究部会の目的

江の川は、「中国太郎」の異名を持ち、幹川流路延長全国 12 位、流域面積全国第 16 位の一級河川であり、中国地方最大の河川である。この江の川には古くからたくさんの橋が架けられ、経済や産業をはじめ人々の生活を支えてきた。

そして現在江の川に架かっている橋梁は、大規模でかつ様々な構造形式を有しており、さながら「橋のデパート」のような全国でも珍しい橋梁群となっている。当分科会は今年度からスタートし、この“橋梁群”をテーマに下記の活動を検討している。

- ・江の川（江津～三次）に架かる橋梁の建設経緯や歴史の検証（後世への引継ぎ）
- ・橋梁の基本諸元（架設年・構造形式・施工方法）の整理
- ・マップ作成

2. 今年度の活動内容

今年度の活動として、10月19日に現地視察を行った。県境～江津までの延長は全 87km と非常に長いので、今年度は県境から浜原ダムまで約 22km の区間に絞って現地視察を行った。

3. 上流域の橋梁群

今回現地視察した上流域の橋梁は、JR 三江線の鉄道橋を含め全部で 13 橋である。

橋長は側径間を含めると概ね 140～170m 前後である。橋梁形式はトラス橋・アーチ橋・斜張橋・吊り橋、鋼床版箱桁橋など多岐に渡っているが、すべて鋼橋でありコンクリート橋は 1 橋もない。建設年次は昭和 40 年代後半～50 年代が中心となっている。

今回調査した橋梁の一覧表を下記に示す。

江の川橋梁群 橋梁一覧表(県境～浜原ダム)

※橋梁は上流から順に並べる

No.	橋梁名	橋長(m)	上部工形式	架橋年	製作会社	備考
1	みくにばし 三国橋	130.0	下路式トラスランガー橋	S49年	日立造船株式会社	
2	たんどばし 丹渡橋	114.0	下路式ワーレントラス橋	S51年	日立造船株式会社	
3	りょうごくばし 両国橋	?	2連下路式ランガー橋	S49年	横河橋梁製作所	
4	だいやんごうがわきょうりょう 第四江川橋梁	不明	3連下路式ワーレントラス橋	不明	不明	JR三江線
5	だいさんごうがわきょうりょう 第三江川橋梁	不明	2連上路式ワーレントラス橋	不明	不明	JR三江線
6	うづいおおはし 宇都井大橋	174.0	2径間連続鋼床版箱桁橋	H3年	不明	
7	だいにごうがわきょうりょう 第二江川橋梁	不明	下路式曲弦ワーレントラス橋	不明	不明	JR三江線
8	つがおおはし 都賀大橋	?	2連下路式トラスランガー橋	S51年	川田工業株式会社	
9	おおうらばし 大浦橋	148.0	下路式ニールセンローゼ橋	H元年	株式会社春本鐵工所	
10	だいわおおはし 大和大橋	133.0	下路式パイプローゼ桁橋	H14年	三井造船・日本車両製造JV	
11	たかなしおおはし 高梨大橋	158.0	2径間連続斜張橋	S59年	株式会社春本鐵工所	
12	つがゆきおおはし 都賀行大橋	?	2連下路式ランガー橋	S38年	櫻田機械工業株式会社	
13	しきばし 信喜橋	173.0	吊り橋	S54年	三井造船株式会社	

上流域に架かる橋梁群の代表写真を以下に示す。



No.1 三国橋
(トラスランガー橋)



No.2 丹度橋
(トラス橋)



No.5 第三江川橋梁
(トラス橋・鉄道橋)



No.6 宇都井大橋
(鋼床版箱桁橋)



No.9 大浦橋
(ニールセンローゼ橋)



No.10 大和大橋
(パイプローゼ橋)



No.11 高梨大橋
(斜張橋)



No.12 都賀行大橋
(ランガー橋)



No.13 信喜橋
(吊り橋)

4．今後の活動に向けて

今年度は初年度で豪雨災害の支援などもあり、思うように活動の時間がとれず上流域の現地視察のみとなってしまった。しかし、わずか22km区間にもかかわらず、架かる橋梁のバラエティの多さに驚くとともに、この財産を何かに生かせないかとの思いを抱いた。今後は下記のような活動を精力的に展開していきたいと思っており、たくさんの方に参加いただければ幸いである。

- (1) 中流域、下流域に架橋された橋梁の現地調査
- (2) 各橋梁の建設当時の資料収集(既往図書、基礎工形式、架設・仮設方法)
- (3) 建設経緯や歴史の検証
- (4) マップ作成
- (5) 江の川河口から浜原ダムまでの川上り
(先人が江の川を舟で上っていた時代に思いを馳せながら、川面から橋梁を眺める)